

平成28年度行政評価シート【個表】

平成 28 年 6 月 28 日

評価対象事業	評価者	障害者福祉課長	安田 明
健福－27 障害者福祉運営事業	■ 自治事務 ■ 法定受託事務	主管課 関連課	障害者福祉課
総合計画上の位置付け	分野	健康福祉	施策の方針
			地域生活の支援サービス

1 事業の目的

対象	障害者等
意図	障害者等に関する施策をより明確にし、よりきめ細かく推進するための障害者福祉計画の着実な推進及び障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス等の適正かつ円滑な実施を行うため。
効果	障害者等の生活の安定と支援の充実を図る。

2 平成27年度に実施した事業の概要

・障害者福祉計画等の進捗管理を行った。 ・障害者総合支援法に基づく事業の施行管理等を行った。 ・障害者団体等への支援を行った。 ・障害者等へのサービス利用調整等必要な支援や権利擁護のための援助など相談支援事業を行った。 ・失語症者等成人言語障害者への支援を行った。 ・在宅の障害者の日中活動の場の確保、障害の特性に応じた作業の場の提供及び地域社会との交流の促進により障害者の自立を支援する地域活動支援センター事業の実施を委託した。 ・公的年金給付の要件を制度上満たせない在日外国人の障害者に給付金を支給し、福祉の向上を図った。

3 事業費等基礎データ

データ区分	26年度決算	27年度決算	データ区分	28年度当初予算	備 考
人 口	177,464人	177,243人	人 口	176,869人	・各年3月31日 (住民基本台帳)
世 帯 数	80,368世帯	80,676世帯	世 帯 数	80,928世帯	
事業の対象者数			事業の対象者数		
運営資源状況					
決算値(千円)	229,245	235,261	当初予算(千円)	258,065	
国県支出金	16,383	24,612	国県支出金	75,002	
地方債			地方債		
その他	10,107	9,451	その他	9,824	
一般財源	202,755	201,198	一般財源	173,239	
人員配置数	5.6	5.6	人員配置数	5.8	
人件費(千円)	46,125	45,654	人件費(千円)	47,399	
事業経費運営					
総事業費(千円)	275,370	280,915	総事業費(千円)	305,464	
市民1人当りの経費(円)	1,552	1,585	市民1人当りの経費(円)	1,727	
対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	2. 増大している
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、廃止・休止はできない
	今後も市が実施すべき事業か	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、成果を計ることはなじまない
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-2. 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施 △-9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、協働はなじまない
		協働実施済の場合のパートナー
事業内容の方向性	☒ a: 事業内容を見直す ☐ b: 事業内容は現状通りとする ☐ c: 事業を休止又は廃止する ☐ d: 他事業と統合し、本事業は廃止する	見直し ☒ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他
		鎌倉市障害福祉サービス計画に基づき設置する基幹相談支援センターについて、地域の相談拠点として総合的な相談業務及び権利擁護のために必要な体制整備を図っていく。 事業へ統合
予算規模の方向性	☒ A: 予算規模を拡大する ☐ B: 予算規模は現状維持とする ☐ C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 事業の対象となる障害者等の人数の増加等により、提供すべきサービス量も増えることが見込まれるため。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	・事業の目的達成に向けた課題について対応することができた。 ・今後も制度改正や市民ニーズの増大への対応、障害者福祉計画の推進のための進捗管理を行う必要がある。	

平成27年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	・引続き障害者福祉計画の進行管理を行う。 ・基幹相談支援センターの設置に向けた調整を行う。 ・委託事業において、請求書に係る不適切な事務処理について指摘を受けた。	
課題解決のために行った平成27年度の取組	・障害者福祉計画の進捗管理を行い、報告書をまとめた。 ・障害者団体等への支援等を行った。 ・基幹相談支援センターの設置に向けた調整を行った。 ・不適切な事務処理に関する調査委員会の調査を受け、原因究明にあたった。	☒ 解決 ☐ 一部解決 ☐ 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	・引続き障害者福祉計画の進行管理を行う。 ・基幹相談支援センターの運営委託手続きを進め、運営を行う。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	障害者福祉計画の策定								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績	○	○	○	○	○	○			
比較事項	基幹相談支援センターの設置								
団体名	鎌倉市	川崎市	相模原市	藤沢市	逗子市	大和市	厚木市	秦野市	大磯町
他市実績	△	○	○	○	○	○	○	○	○
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
当該事業実施に伴う 他市比較に関する 考え方									

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	障害者基本計画の進行管理の実施					単位		指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
障害者施策をよりきめ細かく推進するため、当該計画の着実な執行が必要なため。	目標値	実施	実施	実施	計画見直し	実施	実施			
	実績値	実施	実施							
	達成率									
指標の内容	障害福祉サービス計画の進行管理の実施					単位		指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
障害者サービスの提供体制の確保について、計画的な推進が必要なため。	目標値	計画見直し	実施	実施	計画見直し	実施	実施			
	実績値	計画見直し	実施							
	達成率									
指標の内容	基幹相談支援センターの設置・運営					単位		指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
障害者サービスの円滑な運営のため設置が必要であり、計画的に推進する必要があるため。	目標値	－	準備	設置	運営	運営	運営			
	実績値	－	準備							
	達成率									
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方										

● 事業に関する特記事項

☐ 第3期基本計画前期実施計画重点事業	☒ 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	--